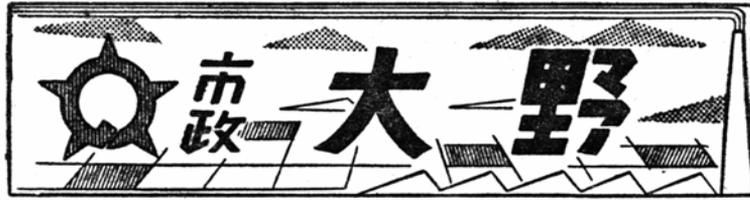


発行
福井県大野市役所
(企画室広報係)
電話(代)一6-1111
郵便番号一912
印刷 松浦印刷所



3月の人口の動き

出生	男 30	女 29	計 59
死亡	〃 24	〃 19	〃 43
転入	〃 50	〃 41	〃 91
転出	〃 65	〃 45	〃 110
世帯数	9,886		
人口	43,435		
男	20,850	女	22,585



市民参加の明るい市政を 市制15周年のこの年に

昭和44年度の市政の大綱をさめる第111回 定例市議会は、3月11日から25日までの15日間開かれ、昭和44年度一般・特別会計当初予算など31議案が上程されました。

議会の冒頭、市長は次の3点を柱とする市政方針を明らかにしました。今年は市制発足以来15周年に当たり、市民の要望と信頼に応えらるべく市政の理想実現に向って、最善の努力を傾ける新たな決意を述べました。

市財政の再建と健全化

今年度の市財政は市税の伸びの鈍化と消費的経費の増大などかなり苦しいことが予想されますが、財政再建計画の基本方針に基づき消費的経費の節減を図り投資的経費についても長期展望のもとで計画的かつ堅実な執行により、赤字解消額の増額に努めて、市財政の再建と健全化を図っていきます。

市民参加の市政

市政運営の上で最も重要なことは、できるだけ多くの市民の声を聞き、それを市政に反映すると共に市民にも市政の理解を深めてもらうことが必要です。

すなわち、市民の市政総参加の姿勢が盛り上ってこそ、複雑化する行政に対処しえると痛感しますので、市民の理解・協力・参加を根底に明るい豊かな新しい町づくりに向ってまい進みます。これは私の市政の理想であり最終目的でもありますので、全体の調和を図りながら、将

来に向って力強く前進する決意であります。

真名川ダム 諸問題の解決

真名川ダムの建設は広く災害を防止し民心の安定と福祉の向上に多大の効果をもたらすものであり、その早期完成は市民のひとしく熱望するところです。しかし、水没を余儀なくされる上下若生子の住民にとっては死活にかかわる重大事がありますので、個人補償・移住対策・今後の生活指導等に万全を期し、公共補償についてもその円満な解決に努力します。

ダムの建設は今後市の上水道計画、農・工業用水の利用など市民生活に密接な関係があり、又道路交通・観光・発電をはじめとする地域開発にも幾多の重要な問題を含んでいますので、確固たる方針のもとでその解決に当たります。

一方、ダム建設に伴ない必然的に西谷村との合併問題が派生してきますが、古来西谷村とは密接な関係にありますので

この問題についてはじゆうぶん検討し最善の努力を傾ける所存であります。

新 常任 特別 委員 決まる

- ◎は委員長、○は副委員長
- (総務委員会) ◎北山作右エ門、○土谷好文、高田新左衛門、杉川栄、南正雄、出村広吉、林達也、四方憲二 (教育民生委員会) ◎斎藤秀雄、○林保信、石田善徳、角本守、丸山惣市、土屋栄、椎井清男、金森幸蔵 (産業経済委員会) ◎米村喜六、○平間源治、真柄重郎、野尻源、奥村忠光、中山利夫、安間政雄 (建設委員会) ◎山岸充、○木下正一、塗茂光夫、宮村光男、猪野毛一雄、石田政治、山本武 (議会運営特別委員会) ◎出村広吉、○角本守、塗茂光夫、斎藤秀雄、山岸充、木下正一、林達也、四方憲二、金森幸蔵 (財政対策特別委員会) ◎山本武、○丸山惣市、斎藤秀雄、北山作右エ門、土谷好文、猪野毛一雄、山岸充、林達也、金森幸蔵 (真名川ダム特別委員会) ◎中山利夫、○安間政雄、石田善徳、宮村光男、杉川栄、南正雄、真柄重郎、野尻源、土屋栄、椎井清男、石田政治 (霊場建設特別委員会) ◎林保信、○塗茂光夫、米村喜六、角本守、平間源治、出村広吉、木下正一、奥村忠光、四方憲二 (公害対策特別委員会) ◎石田政治、○土谷好文、塗茂光夫、石田善徳、角本守、斎藤秀雄、猪野毛一雄、四方憲二、金森幸蔵

一般会計は 11億9,500万円

昭和44年度予算決まる

(歳入のあらまし)

歳入の予算に当っては最近の市税の伸び、経済情勢の動向等を勘案し、現段階で見込み得る税収、その他一般・特定財源を堅実に見積りしました。

款	予算額(千円)	構成費(%)
市 税	401,525	33.6
地方交付税	220,600	18.5
国庫支出金	115,875	9.7
県支出金	85,281	7.1
諸 収 入	283,560	23.7
そ の 他	88,300	7.4
歳入合計	1,195,141	100.0

市税の内訳は市民税 1億1700万円、固定資産税 1億9200万円、たばこ消費税 3900万円、電気ガス税3100万円、都市計画税1000万円などが主で、総額において昨年より4976万円増となっています。

(歳出のあらまし)

本年度の重点事項として特に予算上配慮したものは、

- ①町づくりのための都市基盤の整備
- ②経営改善・過疎対策など産業振興
- ③市民の健康保持と生活環境の整備
- ④学校・社会教育の振興と市民体位の向上
- ⑤社会福祉の増進
- ⑥災害復旧事業の完遂

など市民生活の安定向上を図りました以下、款ごとに順を追ってその概要を説明します。()内は構成比

◎議会費 1,931万円 (1.6%)

◎総務費 1億2,635万円 (10.6%)
 公用車庫建設 350万円。交通安全対策費417万円。税事務の電算委託 131万円

◎民生費 1億837万円 (9.1%)
 社会福祉費 3415万円。児童福祉費 3169万円。生活保護費4253万円

◎衛生費 6570万円 (5.5%)
 健康保持の予防費 371万円。環境衛生費 513万円。ゴミ収集車購入、焼却炉整備など597万円。火葬場建設費1,585万円

◎労働費 645万円 (0.5%)

◎農林業費 1億1,978万円 (10.0%)
 農業構造改善事業 5,328万円。積寒道路整備、土地改良事業など 2,197万円。17haの市有林造成事業費 682万円。おうれん生産、椎茸不時栽培など 279万円。

◎商工業 1,227万円 (1.0%)
 商工振興費 620万円。国鉄の奥越周遊コース指定対策費、城まつりなど観光対策費 106万円

◎土木費 1億485万円 (8.8%)
 道路維持費 1,303万円。市道の改良・舗装など道路改良費 3,050万円。都市計画街路事業 1,705万円。亀山公園の調査測量と道路整備250万円。

◎消防費 3,424万円 (2.9%)
 小型ポンプ・ホースなど消防備品80万円。打込消火栓50万円。打込消火栓は厳雪対策として今後継続実施します。

◎教育費 1億4,310万円 (12.0%)
 小山小改築、上庄小給水施設など学校

から塩坂峠を越えて美濃の八幡に出る21里3町(80km余)の幹線道路である。君が代橋は、明治30年に総工費3,759円をかけて落成し、琴橋も同年総工費 2,573円をかけて完成した。坂戸から羽生に通ずる花山峠は、明治17年に切り開いて、始めて車が通れるようになった。荷車や馬車が初めて通じたのは明治20年である。勝山道は、大野町から九頭竜川に沿って下り、勝山・山王・松岡を経て福井に達する9里17町(38km)。明治8年頃から荷車や馬車が通じた。(写真は花山峠のずい道)

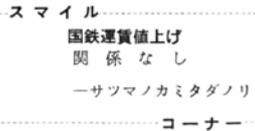
大野の歴史⑭

美濃道と勝山道

藩政時代には、幹線の美濃道や勝山道でも幅は1間から9尺、自然の地形にまかせ、著しく曲りくねって勾配も急な所が少なくなかった。地係りの百姓を集めて補修や改修をしたので、思い切った改善は行なわれなかった。美濃道は福井から足羽川に沿って上り、羽生を経て大野町に達し、九頭竜川上流をさかのぼり、穴馬



（写真は花山峠のずい道）



建設費 1,132万円。小中学校石油ストーブ購入費 184万円。人づくりのため社会教育費 731万円、公民館費 2,943万円。市民の体力増強とスポーツ振興費 549万円

◎災害復旧費 2,640万円 (2.2%)
 42・43年災害等一般災害復旧費で農林関係 1,661万円、土木関係979万円

◎公債費 1億3,228万円 (11.1%)

◎繰上充用金 2億9,297万円(24.5%)

◎予備費 300万円 (0.2%)

育児手当を新設 (国保会計)

特別会計の予算額は下表のとおりですが、主なものは国民健康保険事業会計に育児手当が新設され、被保険者が出産した場合、出産日から6か月間、1か月につき200円(6か月1,200円)の育児手当が支給されることになりました。

簡易水道事業会計では南六呂師の水道改良工事費 1,243万円が主なものです。

昭和44年度 一般特別 会計予算額

会 計 名	予算額(千円)
一 般 会 計	1,195,141
国民健康保険事業会計	229,786
五箇診療所会計	1,719
簡易水道事業会計	17,131
食肉処理場会計	3,423
公団分収造林事業会計	1,643
南部土地区画整理事業会計	27,755
昭和44年度予算総額	1,476,598

補正予算なども可決

第111回 定例市議会において可決された主な議案は、昭和44年度当初予算のほか次のとおりです。

昭和43年度一般会計補正予算は歳入歳出それぞれ3,597万9千円が追加され、予算総額は 13億9,385万8千円になりました。

財政調整積立金、上庄保育所・昼間定時制高校建設補助、道路維持費などの増額によるものです。

又、国体の終了に伴ない国体課が廃止され、議会関係では市内に発生しつつある公害問題を議会の立場から調査し、解決を図るため新たに「公害対策特別委員会」が設置されました。

今月の納税

固定資産税(第一期)
軽自動車税(全期)
いずれも四月三十日までにお納めください

税の知識

◎固定資産税について
 今月は固定資産税の納付月です。

◎固定資産税とは、従前土地に課していた地租、家屋に課していた家屋税に代わるものであり、それに家屋以外の償得資産を加えたものに一定の税率を乗じたものとして課税される資産課税です

◎資産に対して課税する一定の税率とは、大野市の場合百分の二・四(二番低い標準税率)です

◎また資産の課税標準は、貨物価格から価格に変わり、その価格は適正な時価と見做されます

◎この価格の決め方は、土地については(国・県)が市町村ごとに平均価格を指示し、家屋については(国・県)が市町村ごとに平均価格を指示し、家屋に

生活・文化の中心線

越美北線の存続を

赤字線として廃止を取りざたされている越美北線の存続については、市もこれまで沿線市町村と三國線・越美北線存置期成同盟会を結成し、国鉄・政府等に対して越美北線が地元住民・産業に果たす役割の大きなことを訴え、その存置を強く要望してきました。

このほど行なわれた「市民の足を守る懇談会」においても越美北線の存置について、市民から次のような真剣な意見が述べられました。

①鉄道は住民の生活・文化の中心線であり、雪深い山では廃線は命につながる

- 死活問題である。
- ②廃線よりむしろ南北線の早期貫通により利用度を高める姿勢がほしい。
- ③越美北線の貨物輸送は主に米・木材・鉱物資源であるが、その痛手は大きい。
- ④線路は過疎化に一層の拍車をかける。
- ⑤一地方公共団体では解決できない問題であるから市・住民・議会などあらゆる力を結集して廃線に反対していかねばならない。
- ⑥それには市民全体で幅広い反対運動を起こす必要がある。

質のよい、おいしい米を 米づくり運動の方針決まる

先に開かれた「反収日本一米づくり運動推進大会」で、44年度の運動方針と目標が決まりました。相つぐ豊作で米づくりは大きな転換期を迎えています。当市は水稲単作地帯として米中心の経営は

揺るぎないものがあります。そこで44年度は次の3点を柱として国の施策、県の米づくり運動と呼応して強力な運動を展開していきます。

- ◎良質でうまい米づくり
 - ◎安定多収な米づくり
 - ◎集団組織の米づくり
- そのため基盤整備・土地改良事業・機



◆華散する古い文化を保存するため、若生子地区で民俗・習慣等の調査と民具の収集が行なわれました。ことば・芸能・祝事などの民俗・習慣は6月頃発刊される「奥越文化」に特集として集録され、民具は郷土歴史館に陳列します。なかには県下でも珍しい手すき和紙の製造用具や、山仕事の農具など貴重なものがあります。

(民具に見入る調査員)

◆母子家庭の中学卒業生奨励会がありました。「人生は石材のようなもの。それに神を彫刻するのも、悪魔を彫刻するのもあなたの手。力強く神を彫刻してください。」との市長の激励の言葉があり卒業生一同、明日に向けて静かに大きくはばたくことを誓いました。そのあと出



西谷団地の行政区名は西里

4月1日から実施

下届の西谷団地の新行政区名が「西里」に決まり4月1日から実施されます。「西谷村民のふるさと」という意味で、住み馴れた先祖伝来の地を離れる村民の願いがこめられています。

現在、同団地には約80世帯が移住していますが、将来は120世帯がこのでの新しい生活に入ります。

なお、西里の通学区域は小学生は有終南小学校、中学生は有終中学校に決まり公民館は大野公民館に所属します。

械化・集団栽培などを積極的に推進して次のような目標値を達成するよう努力することになりました。

	44年度目標	43年度実績
10a(10aあたり)生産量	540kg	498kg
集 荷 量	30万俵	295,600俵
上位等級米(3%以上)	85%	78.8%
省力化(10aあたり)	15人	18.5人

席上、米づくり優良部落(最優秀西山)と産米改良優良生産者(知事賞北川甚造氏=八町)として、11部落と個人12名が表彰を受けました。

個人の実態調査が、国道157号線を中心に行なわれ、スノー・セットの効果やナダレの状況をつぶさに視察しました。まだ改良を要する箇所が数か所あり、防災計画の修正資料として貴重な成果を得ました。

ら危険箇所は今後優先的に改良工事が実施されます。

(ナダレ箇所を調査する一行)

◆3月21日第5回奥越駅伝大会は高校一般6チームが参加し、市役所前、足羽町天神橋折り返し47.8kmのコースで行なわれました。曇りながらもコンディションはまずまず。各選手力走の結果、福井精練チームが5連勝しました。

市関係の成績は次のとおりです。4位大野市陸協、5位大野工高、6位大高

(福井精練アンカーのゴールイン)

◆3月6日、積雪時におけるナダレ危険



市税納付書の

送付方法が変わります

今年度から市県民税・固定資産税・国民健康保険税の納付書が第1~4期まで連記式になるため、従来各納期ごとに送付していた納付書を4期分まとめて送付します。次のことにご留意のうえ納期内に完納してください。

- 1、毎月各税目ごとにその納期を市報でお知らせします。お見落しのないようご覧ください。
2、納付書は連記式で1期から4期までを一緒にお送りします。4期をかけるまで確実に保管し紛失しないでください
3、納税貯蓄組合や区長により納税預金または税の取まとめをされている方は、それぞれの税金の納税通知書(税額算定の明細書)を納税貯蓄組合又は区長から受けとってください。

春の火災予防運動
4月1日~8日
まちづくりは火の防止から
防火写真展 1日~2日 国鉄駅前
3日~6日 市民会館前

農業委員会からのお願い

農地の売買・贈与・転用・賃借権などの許可申請手続きは毎月15日までに農務課の農業委員会で済ませてください。

労災保険年度更新について

労災保険料報告書の提出と保険料を納付していただく時期が来ました。年に一度の大切な義務を忘れずに励行してください。

さい。労災保険年度更新の手続きは4月30日までに済ませましょう。

(大野労働基準監督署)

お城は4月1日開館



冬期間休んでいました越前大野城は、4月1日から開館します。ご家族おそろいで

いでください。

開館時間 午前9時~午後4時
入館料 大人30円 小・中学生20円
休館日 毎週月曜日と祝日の翌日
お帰りには郷土歴史館(柳廻社境内)へもどうぞ。

米の配給制度が変わります

4月1日から米穀の配給制度が次のように改められました。

- ①従来の登録制度が廃止され、米穀通帳を持って行けばどの米屋さんからでも配給が受けられます。
②配給基準量が引上げられ、1人1か月15kg(従来は10kg)になりました。



緑の羽根募金に

ご協力ください

3月20日~4月30日

(大野市緑化推進委員会)

ご存知ですか?

郵便物の大きさの制限

本年1月1日から郵便物の規格が変わり14cm x 9cm以下のものは郵便物として送れなくなりました。皆さんの大切な手紙が3ミリか4ミリ小さいため差出人に返送されることが多く残念です。

古い封筒をお使いのときは、大きさにじゅうぶんご注意ください。

(大野郵便局)

ゴミのステーション収集始まる

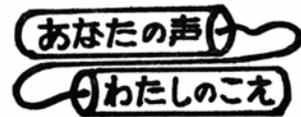
かねて市民の皆さんにご協力をお願いしていたゴミのステーション収集が4月1日から始まりました。収集日には午前8時20分までに遅れないようゴミを指定の場所に出してください。夏期には週2回収集を実施できるよう計画を進めています。

なお、44年度から旧村部の危険物収集も定期的に実施します。日・時など詳しくは公民館よりお知らせします。

(保険衛生課)

商工業融資の受け

商工業者対象の市の制度融資を希望される方は、4月10日までに商工会議所へ申し込みください。(商工課)



市民税をもっと安く

(お尋ね) 大野市の市民税は県下で一番高いと聞いております。もっと安くしてください。一市民(3月17日)

(お答え) おっしゃるとおり大野市の市民税は県下7市で一番高くなっていますしかし固定資産税は大野市と福井市が一番安く、市民税を他の市なみに引下げますと1,081万円安くなり固定資産税を他市なみにしますと1,284万円高くなります。税全体では他の市なみといえましょう。市では昭和45年度において市民税を他市なみに引下げ、税負担の軽減を図っていきたいと考えております。



風見鶏

四月はサクラの季節だ。暦の上でも四月の五日か六日を清明といひ桜花らんまん、草花咲き風光また清新を意味づけている。▼昭和八年文部省改訂の小学国語読本巻一の最初のページ、「サイタサイタサクラガサイタ」の文字は今も記憶している人が多い。サクラは日本の国花であり、花の代表として古来より愛されてきた。▼植物分類学上のせん素はさておき、サクラの名がもっとも古く記録に見えるのは「日本書紀」「万葉集」で以後風俗・文学・美術に数かぎりなく現われている。奈良から平安にかけて各地の寺社での桜会のならわしや、花見・サクラ狩り・各所のサクラをくらべて觀賞する花合わせなど有名で、近年は東京をはじめ各地でサクラ祭りか催されるようになった。▼「花の雲鐘は上野か浅草か」「これはこれとはばかり花の吉野山」を始め、変わったところは米国の首都ワシントンのポトマック河畔には、明治四十二年当時の東京市長尾崎行雄氏が贈ったサクラが六十年の歳月を経て、日本人の善意と共にゆき届いた保護により一大名所となっている。またわが国の天然記念物指定のサクラの名木も全国で三十六か所有多きにのぼっていることをみて、いかにわが祖先たちは春を喜び花を愛し行春を惜んだかわかる。▼美人のサクラにも最近害虫が多い。▼娘が好きだ。第二次大戦後米軍から密入国したアメリカンシロヒトリはとりわけ暴力犯で片っぱしから彼女らの衣装を奪いとる追いはだ。それにスモッグと十う奴も出現した。▼当市では龜山に六十本、赤根川畔に二百本のサクラがあるが名所になるのはいつの日か。どこの名所地でも全市あげての保護育成が実ったことを思うと、サクラ対策だけでも新しいまち作りの容易でないことが痛感される

昭和44年度市政基本方針と事業計画の概要

基本方針

産業界の好景気の影響等により、経済社会は大きく変貌しつつあり、市産業・市民生活も急速に変化しつつあります。このような背景のなかで

昭和44年度は

1. 財政再建の推進
2. 第3次建設計画を基本とした明るい豊かな、新しいまちづくりの推進
3. 真名川ダム対策とこれに関連する諸問題の解決の3点を市政の重点目標とし、具体的な諸施策を強力に推進して、個性豊かな文化産業都市の建設を図っていきます。

明るいまちづくりの推進

明るいまちづくり対策としては、教育の振興と社会福祉の充実を図ります。

よい人間をつくるために

学校教育においては、児童の安全確保のため、危殆校舎の改築、保健体育施設の整備を図り、併せて教材費の充実により教育能力の向上と父兄負担の軽減を図ります。社会教育は新しい村づくり運動を通じて多岐する社会に対応する住民意識の向上を図ります。一方、国体によりつちかわれたスポーツへの理解を更に深め、市民の体力増強のため施設を計画的に整備します

1. 教育費の充実

教材清紙品費充実	44年度 (千円)	43年度 (千円)	備 考
小 中 学 校	9,780	6,260	生徒数 43年 6,950人 44年 6,800人

2. 危険校舎の改築

事業名	事業費 (千円)	備 考
小山小学校校舎	9,028	木造平屋建 393㎡
下庄小学校講堂	31,000	鉄筋コンクリート 839㎡

3. 保健体育施設

事業名	事業費 (千円)	備 考
阪谷小学校プール	6,000	25m×13m
上庄小学校給水施設	2,000	

4. 新しい村づくりの推進

変化する経済社会に対処するため、実践活動を通じ、住民意識の向上を図ります。

新しい村づくり運動推進費	(千円)
	500

5. 社会体育施設の整備

市民のスポーツ振興、青少年健全育成のため、夜間照明施設の整備を図ります。

事業名	事業費 (千円)	備 考
夜間照明施設	1,000	有終中学校

しあわせな暮らしのために

生活水準の向上は共働き家庭の増加を促し、そのため、家庭における児童対策が重要な課題であります。特に本年は、この児童対策を重点に、児童館の建設、保育所の増設を図り敬老事業の充実等により、市民福祉の向上を図ります。

1. 児童施設の整備

事業名	事業費 (千円)	備 考
児童館建設	5,150	木造2階建 310㎡
春日保育所増築	1,085	木造平屋建 60㎡

2. 就学奨励事業拡充

事業名	事業費 (千円)	備 考
生徒就学奨励事業	300	1,000×30人

3. 老人対策

事業名	事業費 (千円)	備 考
敬老会補助	300	43年 200 (千円)

4 国民健康保険事業の充実

事業名	事業費	備 考
存児手当新設	360	1,200円×300人

豊かなまちづくりの推進

豊かなまちづくり対策としては、産業基盤を整備し、その振興を図り市民所得の増大を図っていきます。

まちを豊かにするために

農業の近代化、機械化促進のため土地基盤整備事業を推進しあわせて市特産物の育成、農業後継者対策など総合農政を強力に推進し「産率のよい住みよい農村」の実現を図っていきます。林業については、入会林野の整備、おうれん椎茸など特産物の振興、過疎対策の一環として、黒谷林道の整備を図ります。

商工業については、設備の近代化、協業化のための金融対策を中心にその振興を図っていきます。

1. 農業基盤の整備

事業名	事業費 (千円)	備 考
太田、小穴戸橋造改善	53,282	継続事業
積宗農道整備事業	15,734	継続事業
市単土地改良事業	3,550	43年度 3,000

2. 総合農政の推進

事業名	事業費 (千円)	備 考
農業総合推進会議	1,498	
市特産物育成	350	
農業後継者育成	50	

3. 畜産振興

県営六呂師共同利用模範牧場の早期完成の促進と、有機的利用体制の確立を図ります。

4. 林業対策

入会林野の所有形態を近代化して、生産組織の強化により、生産性の向上を図ります。林地の高度利用を図るため、林道の開設、改良を図ります。

事業名	事業費 (千円)	備 考
入会林野整備事業	1,198	321ha
黒谷河内 間林道開設	8,100	全延長10,500m (47年21画)
谷山線橋梁改良	2,600	

5. 市有林の造成

事業名	事業費 (千円)	備 考
市有林造成	6,826	17ha

6. 商工業近代化共同事業推進のため金融対策費

事業名	事業費 (千円)	備 考
金融対策事業	38,000	
“ 利子補給	954	

新しいまちづくりの推進

新しいまちづくり対策としては、道路交通、都市計画、環境衛生対策、消防力の充実等、生活基盤の整備を重点に地域の開発を図ります。

住みよいまちをつくるために

市民が安心して、文化生活を営めるよう、衛生的な環境づくり、消防力、交通安全体系の整備充実を図ります。特にごみ処理体制の確立、火葬場の建設、生活用水確保のため地下水調査を実施します。

1. ごみ処理体制の強化

ステーション方式によるごみ収集体制を改善して、収集回数増加を図り、あわせて、収集車、焼却場施設の整備を図ります

事業名	事業費 (千円)	備 考
収集車	1,800	1台
焼却場整備	1,500	重油バーナー4基

2. 火葬場の建設

事業名	事業費 (千円)	備 考
火葬場建設	15,855	焼却炉3基

3. 飲用水対策

河川の改修、使用量の増加に伴って、地下水に変動が生じています。将来の飲用水対策として地下水調査を実施します。

事業名	事業費 (千円)	備 考
地下水調査費	1,000	

4. 消防力の充実

市民の安全を確保するため、機械力の整備と融雪を兼ねた消火栓の設置を図ります。

事業名	事業費 (千円)	備 考
消防ポンプ	2,100	1台
小型動力ポンプ	330	1台
融雪兼用消火栓	6,500	25ヶ所

5. 交通安全対策

交通安全施設、道路危険箇所の改良、除雪体制を充実して、市民生活の安全向上を図ります。

事業名	事業費 (千円)	備 考
安全施設整備	3,980	踏切改良3,500 標識400
除雪車	5,000	

6. まちを美しくする運動の推進

国体遺産を受け継いで、花いっぱい運動、清掃運動を強力に推進するとともに、街路樹の整備を行ないます。

事業名	事業費 (千円)	備 考
清掃事業	270	下水路の清掃
花いっぱい運動	100	
街路樹植替	100	

新しい郷土の基盤をつくるために

市民の生活、市産業振興の基盤である、道路対策 都市計画事業は、その緊要度を高めており、道路の改良舗装、公園の整備を重点に計画的かつ継続的に整備を図ります。

1. 道路、橋梁改良

事業名	事業費 (千円)	備 考
踏線改良	11,300	継続事業
道路改良	4,800	
飯家橋改良	2,400	継続事業
道路舗装	16,050	2,180m (延長)

2. 都市計画事業

市街地幹線街路の整備、都市排水路改良を図ります。亀山公園については、総合的整備計画をたて、計画的に実施します。

事業名	事業費 (千円)	備 考
新庄、東中線	17,050	410m
駅東線	9,000	舗装
善導寺川改修	7,719	継続事業
下水路改修	2,000	
亀山公園整備	2,500	

3. 国、県道の改良、舗装の促進

- ・西部バイパス道路の早期着工
- ・松ヶ谷、宝慶寺線について、自衛隊による改修の実施をします。

4. 観光対策

国鉄奥越周遊コースの早期開設を促進するとともに受入れ施設について民間の協力を得て、計画的整備を図ります。

行政運営の近代化

市税の納付については、従来各納期毎に納付書を発送していましたが、今年から年1回の一括送達に改め、事務処理場上の無駄を省き、納税組合の弾力的な運営と、前納制度の活用を促進していきます。

行政運営体制の改善

市民の声を市政に反映し、同時に市政について、充分理解してもらうため、住民との対話の機会をつくり、市民総参加の市政実現に努めます。

財政運営

財政再建計画の基本方針に基づいて、財政の健全化、消費的経費の抑制節減につとめ、投資的経費については類似団体と同じ20%の確保を図りました。

第3次大野市建設計画の概要

建設計画の構成

大野市第3次建設計画は基本構想(10年)、基本計画(5年)、実施計画(3年)からなっています。基本構想は10年後における大野市のビジョンを描き、基本計画はその実現を図るために実施する具体的な施策をあげています。また実施計画は年々実施していく個々の計画を予算的な裏づけと共に決定するものです。

大野市の将来像

計画のビジョンは、市の恵まれた自然条件を生かし個性ある文化産業都市として、明るく豊かな新しいまちの実現を図るもので、このため自然的・社会的条件に即した次のような総合的施策を実施します。

明るいまちづくり



よりよい市民性の育成と社会環境をつくるため、次代の人間形成に努め市民福祉の向上を図っていきます。

形成に努め市民福祉の向上を図っていきます。

◆よい人間をつくるために

1. 小・中学校の統廃合をすすめて、学校規模の適正化を図る。
2. 老朽校舎を改築し、鉄筋化100%の実現を図る。
3. 新しいまちづくり運動を重点として社会教育の振興を図る。
4. 図書館・総合体育施設を建設して、市民の教養・体位の向上を図る。

◆しあわせな暮らしのために

1. 保育施設を充実して、適児の100%収容をめざす。
2. 児童館・公園を設けて、子供を事故から守る。
3. 低所得者・身障者等の更正指導を行なう。
4. 成人病対策の徹底を図り、市民の健康増進にあたる。
5. 国民健康保険事業を充実し、老人の10割給付・育児手当を実施する。



豊かなまちづくり

経済的基盤を確

立して豊かな生活を営めるよう、産業生産の拡大と市民所得の向上を図っていきます。

◆まちを豊かにするために

1. 土地基盤整備事業をすすめて大型機械の導入、協業体制を確立して近代化を図る。
2. 県営六呂師共同利用模範牧場の有機的利用により、畜産の振興を図る。
3. 公共資金の導入による造林をすすめて、人工林率の向上を図る。
4. 広域林業行政をすすめて、共販市場の開設を推進する。
5. 繊維構造改善事業をすすめて、生産性の向上を図る。
6. 中小企業団体の育成強化、金融対策をすすめて、経営の安定を図る。
7. 工場誘致、資源の利用・開発につとめ、新しい産業の導入をすすめる。

新しいまちづくり



先進地との交流に努め、社会資本の開発・充実を図って、時代の変革にこた

えた新しいまちの実現を図る。

◆住みよいまちをつくるために

1. ごみ、し尿の処理施設を拡充整備して、まちを美しくする。
2. 近代的葬儀場を建設し、共同墓場の計画をすすめる。
3. 地下水の調査をして、上水道の計画をすすめる。
4. 蔵雪を兼ねた消火栓の設置をすすめる。
5. 消防施設の整備、除害体制の確立をすすめて、市民生活を守る。

◆新しい郷土の基盤をつくるために

1. 国道の整備、越南北線への貫通を期して、先進経済圏との交流を図る。
2. 区画整理事業を実施して、理想的な市街地の形成を図る。
3. 国道バイパス道路の建設をすすめる

(大野市主要指標の動向)

項目	40年 A	50年 B	伸び率 ^{B/A}
総人口	43,747人	43,800人	100.1%
世帯数	9,729	10,200	104.8
生産所得	8,294千円	18,731千円	225.8
農業1人当り 生産所得	353千円	774千円	219.3
農業1人当り 収入	185千円	406千円	219.5

- て、交通の緩和を図る。
4. 市道幹線の改良・舗装を計画的に実施する。
5. 観光施設を整備し、ルートの開発をすすめて都市住民の憩いの場を作る
6. 亀山公園を整備して、市民の憩いの場を作る。

基礎的条件の整備

都市計画

市内交通量は遠からず飽和状態になることは必至です。そのため街路の拡幅、バイパス道路の新設、新町大橋線の延長等を急ぎ、市内各所に公営駐車場を設置していきます。

(公園) 亀山公園は越前大野城を中心に文化財・史跡の保護に努め、自然と調和した総合計画をたてて、市民の憩いの場とします。また市郊外に適地を求め墓地公園を計画して、市街地土地利用の高度化を図っていきます。

(区画整理事業) 新栄町を中心とする北部地区はバイパス道路の完成により急速に市街地化されていますので、北部及び東部区画整理事業の早期着工と、西部バイパス線の建設に併行して西部地区の計画も進めて行きます。

水政計画

伏流水の変動が予測されるので、生活用水、農・工業用水確保のため地下水調査を実施して、新しい水配の調査に努めます。

交通計画

高速自動車道時代を控え、北陸自動車道・東海北陸自動車道への接続路となる福井門馬自動車道の早期実現を強力に促進します。冬期間の交通確保のためには除雪車を4台に増強(現有2台)し、消火栓兼蔵雪装置の設置を促進します。交通安全の面では道路整備とあいまって、通学路・信号機などの施設を充実していきます。また鉄道については越南北線・北線の貫通を図り、中京圏との交通拡大を図ります。

道路計画

(国道) 市街地交通の緩和を図るため西部バイパス線の着工を急ぎ、福井原線の改良舗装と国道大野原線との国道昇格を促進します。

(県道) 主要県道の本線と人

家連担地区の舗装を完了し、あわせて市道下廻線と仙翁谷線の県道昇格を図っていきます。

(市道) 市、道路網を再編成して計画的かつ継続的な改良整備を行ない、舗装については市街地道路・村落連絡線・人家連担地域の舗装を優先的に進めていきます。

市道の改良舗装目標

等級別	延長 km	現況 舗装率 %	改良後 舗装率 %	改良後 延長 km
1級	133.1	7.0	16.4	32.2
2級	113.1	0.8	11.7	2.1
3級	49.0	0.2	0.4	0.2
4級	42.2	0.1	0.1	0.1
計	337.4	3.1	11.0	13.4

産業振興計画

農業計画



今後整備を必要とする2,790haの水田の土地基盤整備を実施して、大型機械の導入と協業組織の確立に努めます。

(牧野造成) 六呂師高原に造成される県営共同利用模範牧場は、当地方の畜産振興の基盤として畜産の飛躍的発展を図ります。

経営規模別農家数の推移

区分	0.5ha以下	0.5-1ha	1-1.5ha	1.5-2ha	2-3ha	3ha以上	計
25年	971	1,556	1,773	437	62	—	4,299
35年	774	1,531	1,262	503	113	1	4,184
40年	689	1,424	1,199	576	161	1	4,050
47年	550	1,050	1,250	600	300	50	3,800

林業計画

当市の林野面積は73%を占めますが、民有林の人工林率は17.9%と低率です。このため公共資金を導入して造林をすすめて、近頃市町村を含む広域的な共販市場の設置を促進します。

商工業計画

市内工業生産額の66%を占める繊維工業が市民経済には大きな役割を担っており、伝統産業として発展してきましたが、最近では技術革新・労働不足・賃金上昇等問題が多いため、繊維構造改善事業による技術的な企業改革と設備の近代化を推進して、基礎産業としての振興を図ります。また商業についても組織の強化と共同事業を推進し、零細企業を対象に市融資制度の拡充を

図ります。(工場誘致) 既存産業との競合や公害を配慮し、高卒者・男子労働に適した産業の誘致に努めます。

観光計画



越前大野城・郷土歴史館の完成、模範牧場の着工、九頭竜ダム群の竣工により観光に多面的要素を深めてきた当市の観光を生かすため、次の施策を実施していきます。

1. 亀山公園の整備・開発
2. 休憩場・売店・駐車場の設置
3. 六呂師高原の白山国立公園編入
4. 和泉村と提携して九頭竜・荒島岳の開発
5. 青年の家の誘致
6. 国鉄奥越周遊コースの早期開設
7. 荒島岳を周遊して九頭竜・真名川両ダムを結ぶ奥越高原観光道路の開発
8. 白山横断道路の早期完成

文化厚生計画

教育計画

教育効果の向上を図るため学校の統廃合・新設・通学区域の再編成により学校規模の適正化を図り危険校舎の改築を推進します。(幼稚園) 1、下庄地区に新設を促進。

2、収容年台を拡大する。(昼間定時制高校) 地元産業に若い労働力を供給する昼間定時制(2部制)高校の拡充を図ります。(危険校舎の解消) 学校の統廃合・改築とあわせて鉄筋化を進めています

校舎改築計画 小山小・下庄中・朝朝小 調査改築 富田小・下庄小 敷地造成 有南小。(図書館の充実) 独立した図書館がないので、大野公民館を市民会館に併設し、現大野公民館を独立図書館として整備充実していきます。(郷土歴史館) 先人の文化的遺産を後世に伝えるため郷土文化の調査・研究・資料の収集を行なって保存・伝承します。



越前大野城

郷土歴史館の完成、模範牧場の着工、九頭竜ダム群の竣工により観光に多面的要素を深めてきた当市の観光を生かすため、次の施策を実施していきます。

1. 亀山公園の整備・開発
2. 休憩場・売店・駐車場の設置
3. 六呂師高原の白山国立公園編入
4. 和泉村と提携して九頭竜・荒島岳の開発
5. 青年の家の誘致
6. 国鉄奥越周遊コースの早期開設
7. 荒島岳を周遊して九頭竜・真名川両ダムを結ぶ奥越高原観光道路の開発
8. 白山横断道路の早期完成

民生計画



単身老人の保護に当たるため老人家庭奉仕員を設け、家庭の慰問・相談・介助

などを行ない、老人家庭の不安をなくしていきます。

(保育所)

建設計画

地区名	公私名	定員	備考
大野地区	社会福祉法人	90人	乳児対象
下庄地区	市立	60人	

(国民健康保険事業) 保険財政の悪化に対処しながら運営の近代化を図り育児手当の新設、老人の10割給付を実施して、被保険者の福祉向上を旨とします。

衛生計画



(成人病対策) 高血圧症・心臓病・ガン等の集団検診を実施して疾患の早期発見・治療に努めます。(水道施設の整備) 地下水の低下がみられますので地下水調査を実施して市街地を中心に上水道計画を進めます。簡易水道は部落簡易水道・小規模給

水施設を統合して、広域簡易水道に改良していきます。

(ゴミ・し尿処理) ゴミ焼却能力は遠からず限界に来るので、炉1基を増設し、補助燃焼装置を付完全焼却に努めると共に収集車を増強していきます。し尿処理は処理能力を現在の27kℓから54kℓに増強を図ります。

(葬儀場の整備) 現火葬場は老朽したため、近代的な葬儀場の建設を進めます。

住宅計画

住宅はほぼ充足の状態にあり、市営住宅入居者も自己住宅建築の機運が高いため、小集合の市営住宅は入居者に払い下げ、50~55年には中津川に不燃性住宅の建設を進めます。

消防防災計画

建築構造の変化と化学燃料の普及は一度火災が発生すると不慮の惨事をもたらすので、次のような計画を実施し、市民の安全に努めます。

計画の概要

設置予定 器材	事業 量	備 考
雷上ポンプ車	1台	積雪時の機動力強化
小型動力ポンプ	10台	へき地に配し、初期体制・積雪時に備える
蔵雪兼用消火栓	51基	市街地の用水不足に対処し、蔵雪を兼ねる
防火水槽	6基	水利のない部落に設置する
無線移動局	1局	現有1局を2局に増強し通信を強化する

その他防火・救急体制を強化して社会秩序の保持と公共の福祉に努めます

実施に当たってのお願い

この建設計画を実施していくには、国・県の指導援助はもちろん、民間団体の協力と市民の市政に対する積極的な参加が必要です。市民の皆さんのご協力を切にお願いいたします。